

まちの“余白”が、 週末だけ、お店になる。

軒先も、空き区画も、広場の一角も。地図に載せておくだけで、
出店したい人のほうから申請が届きます。



出店のようす（玖珠珈琲）



はじめまして。福岡の **URBANIX（アーバニクス）** と申します。

まちの調査・解析から空間の設計までを手がける都市デザイン・ファームです。Placebookは、私たちが開発・運営しています。

01 USE

こんな使い方ができます

新しくイベントを立ち上げる必要はありません

週末だけの コーヒースタンド

軒先1.5mから始められます。常連がついたら、月2回、毎週へ。

祭り・マルシェの 空き区画

いまある催しの、埋まらなかった枠だけを募集できます。

店を持つ前の “おためし”

自分の商品を1日だけ並べてみたい人の、最初の場所に。

02 WHY

その1日が、次の担い手を育てます

いきなり空き店舗を借りるのは、誰にとっても重い決断です。1日から始められれば、**試す人が増えます**。その積み重ねが、まちに「次の借り手候補」を残していきます。

STEP 01

1日だけ、
試してみる

02

月に1回、
常連ができる

03

定期的に
出店する

04

空き店舗の
借り手になる

05

まちの
担い手になる

03 COST

費用は、出店が決まったときだけ

0円

初期費用

0円

月額費用

24%

出店が成立したときのみ

1日の出店料が10,000円なら、7,600円がそのままお手元に残ります。

掲載も、申請も、承認も、決済も。

ぜんぶ、この1つの画面で終わります

04 HOW

使い方

貸す側がすることは、この4つだけです

01

スペースを登録する

名前・紹介文・写真を入れるだけ。掲載は無料です。

02

貸せる日と料金を決める

貸せる日時と金額を設定。何度でも変えられます。

03

地図に載り、申請が届く



地図から探した人が申請します。募集は不要です。

04

承認して、決済まで完結

承認から決済まで、画面の中で完結します。

05 SCOPE

できること、できないこと

できること

- 1日単位で募集する（掲載は無料）
- 申請してきた相手を見て、断る
- 契約と集金を、アプリの中で済ませる
- 出店の記録を残す（次の企画書や補助金申請の材料に）
- いつでもやめる（契約期間の縛りはありません）

できないこと

- 出店者が必ず集まるとお約束すること
- 食品営業許可・道路占用許可の取得代行（ご案内はできません）
- お店の売上そのものを増やすこと
- 当日の運営スタッフを手配すること

CONTACT

URBANIX株式会社（アーバニクス）

福岡市中央区長浜1-1-34 KBC会館2F <https://urbanix-japan.com/form>

まずは、空いている場所をひとつ、貸せる日をひとつ。ご説明にうかがうことも、オンラインでのご案内も承ります。